

瀬戸谷中学校の生徒が「ガゼルの森」園児と交流

～人との関わりを通して思いやりの心を育て、ピア・サポートを広げます～



瀬戸谷中学校では、様々な人とのかかわりを通じた藤枝型ピア・サポート活動に力を入れています。その一環として、10月20日、市内にある保育所「ガゼルの森」の園児と交流会を実施しました。

生徒たちは、「相手のことを考え、どう接することが良いか」という視点から園児が喜ぶ遊びを考案。ボール遊びや魚釣りなど、6つのブースを作成し、園児たちと触れ合い、思いやりの心を育みました。

藤枝型ピア・サポート活動

子どもたちの人間関係を豊かにするための学習の場を設定し、そこで得た知識やスキルをもとに、仲間を思いやり支え合う実践活動のことです。この活動を通して子どもたちの対人関係能力を育成します。

